

コニカミノルタ八王子研究所見学会 感想文

先進理工学専攻 4 年 原 慎太郎

私の中で最も印象的であったのは研究所 3 階から 7 階までの吹き抜けになった社員の方々が実際に働いている空間でした。吹き抜けの持つ空間の開放的な印象に加え、オフィス什器類の配置や色使いが統一されておらず多様性のある雰囲気も感じられました。これらの開放的かつ多様な空間は創造性を助長し、コニカミノルタが発展のスローガンとして掲げている **Transformation** を押し進める重要な役割を果たしているのではないかと思います。

社員の方との懇談会では博士号をとった方がコニカミノルタで実際にどのように働き、どのようなキャリアパスを進んで行くのかを知る大変良い機会でした。博士号を持っている方も研究だけではなく、マーケティングなどに携わりビジネスの知識も必要とされていることを強く感じました。

また、商品や技術の展示紹介ではオンリーワンの技術や、それら技術の結集による創造的な製品が製作されていることがわかりました。山名社長がおっしゃっていた通り、商品の根幹となる材料技術とその進化が重要であり、それらの点を実際に技術や製品を見ることで感じとれました。